



住民にニーズを聞いて歩く災害ボランティアセンター職員
(2020 熊本地震)

テボに間ら地域か被災者は、多くの直接的依頼についてお伝えしま

題が最も多い理由であ
りで、「災害ボランティアの受け入れが進まない」という内容を見聞きすることがあるので、新聞やニュースなども、このことにも関係するニーズ(被災者、地域からの依頼)についてお伝えしま

題。三つめは、「知らない人に家に入つてもううの躊躇(ちゆうちょ)する」「人様に頼むのは申し訳ない」といった心理的な課題です。この中で心理的な課

題。二つ目は、そもそも被災者が遠くに避難をしており、依頼ができるないという物理的な課題。

二つ目は、そもそも被災者が遠くに避難をしており、依頼ができるないという物理的な課題。

三つめは、「知らない人に家に入つてもううの躊躇(ちゆうちょ)する」「人様に頼むのは申し訳ない」といった心理的な課題です。この中で心理的な課

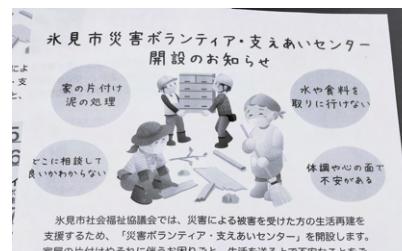
災害ボランティアセンターとは② ニーズ把握の難しさ

災害ボランティアセンターに届き、そこからボランティアの活動が始まります。しかし、実際にはニーズ把握が思うように進まず、ボランティア活動に結びつかないケースが多く見られます。

その理由が考えられます。一つは、被災者の皆さんに十分に災害ボランティア活動の情報が伝わっておらず、「どこに電話をしていいか分からない」何を頼めるか分からぬ」といふた情報伝達の課題。

二つ目は、そもそも被災者が遠くに避難をして駆けつける準備をしてくれています。そのため、災害が起これば多くの市民がボランティアとして駆けつける準備をしてみで下さい。

ひろしまNPOセンター
(特定非営利活動法人 増田勇氣)



災害ボランティアセンターの開設をお知らせするチラシ
(2024 能登半島地震)

開設日 令和6年1月5日(金)より
受付時間 10:00~16:00(土・日・祝日含む)
問合せ先 水見市災害ボランティア・支えあいセンター
相談専用ダイヤル 090-5687-2202
090-5687-2203
※相談受付後、安全面・ボランティアでの対応の可否を判断してからの活動調整となるため、お時間をいたたくことがあります。ご了承下さい。
令和6年能登半島地震による被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
水見市災害ボランティア・支えあいセンター 水見市 社会福祉法人水見市社会福祉協議会

お済みですか？狂犬病予防接種

犬からのまん延を防ぐ



動物の愛護と管理を考える⑪

昨年度、本紙で「動物の愛護と管理を考える」というテーマで6回の連載機会をいただきました。今年度も、引き続き県の動物愛護管理に関する取り組み

を紹介していきます。

毎年4月から6月は狂犬病予防接種期間です。犬の飼い主の皆さま、今年の狂犬病予防接種はお済みですか？

かつて、この時期は市町の狂犬病予防集合注射会場で、犬と飼い主とのほほえましい攻防が見られたもので

なっています。

そもそも、狂犬病とはどのような病気か、なぜ飼い犬には年に1回接種が義務づけられ

ているかご存知でしょうか？

狂犬病は、人を含めたすべての哺乳類に感染し、人も動物も発症

する効果的な治療法ではなく、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。

日本、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなどの一部の国々を除いて、全世界で発生しており、海外との往来が盛んな現在、日本にいつ侵入してもおかしくあります。また、世界中で狂犬

病に感染する人の9割以上が犬から感染している事実

が、犬から感染して、犬から感染させ、犬から感染させることも多くなっていますが、実は接種率の低下が問題となっています。

日本では、動物病院で注射を受けることも多くなっていますが、実は接種率の低下が問題となっています。

日本では、動物病院で注射を受けることも多くなっていますが、実は接種率の低下が問題となっています。